

第2回 瀬目トンネル検討委員会審議要旨

日時 平成17年12月2日 午前9時～11時

場所 KKR熊本

出席者

今田 徹委員長、平野 勇委員、真下 英人委員、藤澤 和範委員
田中 誠也委員、西山 隆司委員、朝堀 泰明委員

議事	審議要旨
地盤検討委員会結果及び、現状報告について	<ul style="list-style-type: none"> ●地盤検討委員会の結果報告で、「急速な地盤変動が生じる可能性は極めて小さいと判断された。」と紹介された。 ●地盤変動機構を解明するための調査計画が紹介された。 ●6月の当委員会以降のトンネルの変位傾向は、これまでと変わっていないことが確認された。
今後の調査について	<ul style="list-style-type: none"> ●実施する調査の項目（資料－4 P13）及び内容について審議し了解された。
今後の管理・応急対策について	<ul style="list-style-type: none"> ●今後、トンネルの状況に応じた判定区分を設け管理し、必要な対策を実施していく事を審議し了解された。 ●44、45スパンについては、レベル3への見直しを検討することが望ましい。 ●当面の対策工について説明があり、適切な手法がとられていると判断された。 ●現行の警報発令基準および体制については、了解された。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●今回の議事で整理した調査・監視・対策の各手法に沿って的確な対処措置を行うことで、当面、交通の安全は確保されと考えられ、トンネルの変状に伴う交通阻害を生じる可能性は小さいと判断された。 ●危機管理については、トンネルの状況把握につとめ、状況に応じて必要な対策工を実施することが望ましい。 ●今後、地盤変動機構解明までの間、地盤やトンネルの状況について適宜報告を受け、必要に応じて現地調査を実施する。 ●次回委員会は、「地盤検討委員会」の地盤変動の解析結果を待つて開催する。